

事務事業名		大船渡プロモーション推進事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間 ☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興							
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実							
根拠法令						予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 06 05			
所属	部課名	商工港湾部観光推進室							
	課長名	鈴木 弘							
	係名	電話	0192-27-3111						
	担当者	千田岳明	内線	113					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市の名所(風景・食・イベント・人)を全国に向けてPRするためのコンテンツを制作し、観光客を大船渡市に誘致する。 プロモーションビデオを製作し、情報発信をすることにより知名度アップにつなげ、大船渡市観光ビジョンに掲げる「大船渡観光PRの推進と物産販売を通じた誘客の推進」を目指す。 事務費は委託料として支出する。 大船渡市PR検索CM「ばば結婚行進曲」を市民120人の参加により製作、WEBで公開する。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							内訳	都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計(B)	0							
トータルコスト(A)+(B)		0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡市内の名所や食、人を主にPRビデオを制作し全国に大船渡をPRした。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) なし					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
					名称				単位
					ア	プロモーションビデオへのアクセス件数			件
					イ				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・潜在的な観光客					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
					名称				単位
					カ	全国の人口			万人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・大船渡に興味を持ってもらう。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
					名称				単位
					サ	観光入込客数(年実績)			千人
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市の魅力がPRされ、認知度が高まる。 ・大船渡市を訪れる。					シ	市のホームページ観光トップページへのアクセス数			件
					ス				
(2) 総事業費・指標等の推移									
		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円					5,376	
		事業費計(A)	千円					5,376	
	人件費	正規職員従事人数	人						1
		延べ業務時間	時間						150
		人件費計(B)	千円						600
		トータルコスト(A)+(B)	千円						5,186
⑤活動指標		ア	件					9,000	
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	万人					12,692	
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	千人					883	
		シ	件						9,475
		ス							

事務事業ID	1729	事務事業名	大船渡プロモーション推進事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
・全国に大船渡市の知名度をアップさせ観光客の誘客を図るため、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域創生先行事業）を活用し、平成27年に事業を開始した。			
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・東日本大震災から5年が経過し、復興関連事業者の減少傾向に伴い、市内宿泊施設の利用も減少傾向となり、観光客の入込客数も大幅に減少している。 ・平成28年度に商工港湾部内の組織機構の見直しにより観光推進室が設置された（平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当）			
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・新聞やテレビ等で取り上げられ、市民からは楽しく大船渡をPRしているとの意見が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	大船渡市の認知度アップを図るための情報を発信することにより、大船渡市への観光入込数やイベント等への誘客増加に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市に訪れる観光客が増え、宿泊や観光消費額が増えることによって、経済波及効果が期待できることから、大船渡市をPRしていくための事業を市が行なうことは妥当である。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大船渡市プロモーションビデオを作製し、全国に向けて大船渡市をPRすることは、観光スポットやイベントに興味を持つ観光客を誘客することにつながり、有効な手法であり対象・意図は適切である。	
効率性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	大船渡市をPRするためのプロモーションの事業推進として充分ということはありません、今後もより効果的、計画的に作製、発信していくことで、更なる大船渡市の認知度を向上していく余地はある。併せて、市のホームページやTwitter等を活用した最新の情報を発信していくことが重要である。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	事業の廃止は、全国に向けて大船渡市をPRする機会を失うこととなり、大船渡市の認知度向上が出来なくなる。		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	他事業では大船渡市の観光に特化したプロモーションを宣伝をすることは困難である。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	プロモーションビデオ作製業者に委託しており、これ以上の削減余地はない。	
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	業者への委託であり、人件費は最低限となっている。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	プロモーションビデオの作製による情報発信は、市内全域の観光資源が対象となるものである。	

事務事業ID	1729	事務事業名	大船渡プロモーション推進事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) この事業は、大船渡市の良さを全国に情報発信し、大船渡市に興味を持ってもらうとともに、大船渡市のイメージアップと観光客の誘客を進めるために重要な事業である。 今後、大船渡の認知度向上に向け様々な事業実施について検討していく。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☒ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 事業を再開する場合は、より効果的、計画的に情報を発信していくことが必要。		☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																																	

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	観光推進室長 鈴木 弘

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																																	
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 ・適切な事務執行がなされた。																				
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☒ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) プロモーションビデオは平成28年3月に完成し、市ホームページ等で公開している。		☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
